

タイエンダー下塗

- 1. 一般名** 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 A, B
- 2. 規格** 鋼道路橋塗装用塗料標準 (2014)
- 3. 特徴**
- 1) アルミ顔料の塗膜内配向により極めて高い環境遮断性を示し、超長期にわたって塗膜下鋼材を保護する。
 - 2) 複数の無公害特殊防錆顔料の効果により、塩害環境下において非常にすぐれた耐食性を発揮する。
 - 3) 弱溶剤形塗料でありながら速乾性に優れるため、特に低温環境下における施工効率向上に寄与する。
 - 4) 弱溶剤形塗料のため、臭気等も少なく、塗装作業環境を改善できる。
 - 5) 優れた浸透性・付着性・防錆性を発揮し、塗替塗装及びブラスト処理が不可能な場合に適している。
 - 6) NETIS登録番号：CG-210013-A

4. 塗料性状

項目	内容							
容姿	2液性							
荷姿	18kg/缶 (主剤：16.2kg、硬化剤：1.8kg)							
色相	シルバーグレー、シルバーホワイト							
光沢	-							
密度 (23°C)	塗料	1.29						
	揮発分	0.82						
粘度 (23°C)	115KU							
加熱残分	73%							
乾燥時間	温度	-5°C	0°C	5°C	10°C	20°C	30°C	40°C
	指触	4時間	3時間	3時間	2時間	1時間	40分	20分
	半硬化	8時間	6時間	6時間	5時間	3時間	2時間	1時間
標準膜厚	60μm							
引火点	SDS参照							
発火点	SDS参照							
爆発限界 (下限~上限)	SDS参照							

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。
乾燥時間の評価方法は JIS K5600-1-1 に準ずる。

5. 塗装基準

項目	内容							
素地調整*	3種ケレン、4種ケレン							
調合法	主剤：90部、硬化剤：10部 (重量比)							
可使時間	-5°C	0°C	5°C	10°C	20°C	30°C	40°C	
	12時間	10時間	10時間	8時間	5時間	3時間	1.5時間	
温度・湿度制限*	気温：5°C以下、湿度：85%RH以上							
使用シンナー	塗料用シンナー又は塗料用シンナーA							
塗装法	塗装方法*	刷毛・ローラー塗装			エアレス塗装			
	希釈率*	10%以下			20%以下			
	標準使用量	200g/m ²			240g/m ²			
	目標膜厚	60μm			60μm			
エアレス塗装条件	1次圧 0.4MPa (4kg/cm ²) 以上							
	2次圧 12MPa (120kg/cm ²) 以上 チップNo.163-417~621							
塗装間隔* (20°C)	最小	1日						
	最大	10日						

注) *は、「鋼道路橋防食便覧 塗装編」による。

6. 施工上の注意

- (1) 被塗面の油・湿気・じんあい・水分・塩分・金属酸化物、その他の有害な付着物は完全に除去する。旧塗膜上に固着した粉状異物は研磨にて十分除去する。
- (2) 低温環境下においては、被塗面に結露を生じやすく、塗膜の付着性が損なわれる原因となる。露点管理を実施するなど被塗面の状態を確認した上で塗装作業を行うこと。
- (3) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合割合を間違えた場合、塗膜性能の低下や成膜不良を生じる。
- (4) 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使いきる。
- (5) 主剤粘度は低温時期に高くなる。開缶前に振倒することで塗料が流動し、取り扱いし易くなる。
- (6) 規定の塗装間隔範囲内で塗り重ねを終えるようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨した上で表面を清浄にしてから塗り重ねを行うこと。
- (7) 希釈には塗料用シンナー、または塗料用シンナーAを使用すること。
- (8) 塗装終了後の使用機器は直ちに塗料用シンナー又はラッカーシンナー等で十分に洗浄する。硬化反応が進行した塗料は塗料用シンナーでは洗浄が困難な場合があるので、その場合はラッカーシンナー等を洗浄に使用すること。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	指定可燃物	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第3種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	-	-

8. 使用上の注意【警告】

安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。